

生物多様性講座 開催報告

2026年度事業

蝶の標本づくり

7月18日(土)10:00~11:30

★ 参加人数 子ども 12名、大人 8名

1. お話し：蝶の生態や多様性

講師 ビオトープネットワーク中部 宇野先生

- ・ 蝶の捕り方（道具の紹介・昆虫のいる場所を知る）
- ・ 蝶の種類によって食べ物の違い（食草・食樹）
- ・ 絶滅危惧種と外来種について
- ・ 採取した虫の保存方法（標本）について



2. 体験「ウスバシロチョウの標本づくり」

体験した参加者の声：標本作りが楽しかった・嬉しかった。

- ・ ピンセットや針を使って作業をするのが楽しかった。
- ・ 見たことはあっても作るのは初めてで、デリケートな羽や触角を扱う難しさを実感した。
- ・ 敷居が高そうだと思っていたが、初心者にも優しい種を用意してもらい、丁寧に教えてくれたので分かりやすかった。慣れればすぐにできそう。
- ・ 自分が捕まえた蝶が形として残るのは素敵。普段は体験できない貴重な機会になった。
- ・ 他の昆虫でも標本を作ってみたい。

3. 参加者の声

・ **全体の感想：**とにかく楽しかった！いろいろ学べて楽しかった。

- ・ 蝶について詳しくなれた。
- ・ 色々な虫捕り網や採集道具があることを初めて知り、その多さに驚いた。
- ・ 絶滅しそうな蝶のことや、日本で一番大きいオオゴマダラという蝶のことを知ることができた。
- ・ ウスバシロチョウ鱗粉（りんぷん）が少ないことや、色々な蝶の種類について学べた。
- ・ 蝶や蛾について知らないことが多く、名前の由来や「標本にするには幼虫から育てるとよい」というお話も興味深かった。
- ・ 蝶の標本を作れたこと、自分で標本を作れた体験そのものが楽しかった。
- ・ 難しかったけれど、上手にできてよかった。また作ってみたい。
- ・ 毎日虫採りをしている子ども（小4）が、標本作りという「違う視点」で大好きな虫に触れ合えてとても嬉しそうだった。

